

# Update the Value Standard

早川浩士  
(有) ハヤカワプランニング  
代表取締役

わたしは、私

元日早々、日本経済新聞の朝刊の、西武・そごうの全面広告「さ、ひっくり返そう。」というキャッチコピーに目が奪われた。  
大逆転は、起こりうる。わたしは、その言葉を信じない。どうせ奇跡なんて起こらない(中略)わ

たしはただ、為す術もなく押し込まれる。土俵際、もはや絶体絶命。この後、小さな赤い文字で「ここまで読んでくださったあなたへ。文章を下から上へ、一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。」(※1)と続く。  
大相撲小兵力士の炎鵬が、まわしを締めて凛々しく立つ姿と共に

映し出された「わたしは、私。」のメッセージ。今年で4回目となる西武・そごうの正月広告だ。「小よく大を制す」と小さな身体で大きな力士を相手に立ち向かう炎鵬へのさらなる活躍と精進を願う檄文と理解しつつも、この言葉から勇気をもらった人もいたのでは。かくいう私は、「経営(継栄)

のツボ」と題して本誌に16年8月にわたり200回記し続けてきたが、違った枠組みから捉え直したいとの思いから「Update the Value Standard」と奇妙なタイトルを掲げてみた。初回の皮切りに綴る言葉に悩んでいたところ、さ、ひっくり返そう。」に目が釘付けとなったのだ。

## “さ、ひっくり返そう。” 従来の枠組みを取り外す

### Profile

はやかわ・ひろし ● 経営コンサルタント。「継栄と人財創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』、『99の言葉の杖』(いずれも日本医療企画)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)など。本誌にて『経営(継栄)のツボ』を創刊から200回(16年8月)連載

URL [www.hayakawa-planning.com](http://www.hayakawa-planning.com)

自分のことをどう思っているの?

ところで、「自分のことをどう思っているの?」と問われたら何と答えるだろう、あなたは。  
① たいした人間ではないから、頑張ってもたかが知れている。  
② だれも認めてくれないから、何をやってもやるだけムダ。

③ 生まれつき頭が悪いから、頭脳明晰な奴がうらやましい。  
否定的に捉えて何をやってもダメな私を自認する人は、性格や個性などを卑下、揶揄するしかなくなり、やる気を失い、消極的になって何もしなくなる。

「否定的に捉えるクセを身につけてはいないか?」と問いたい。

自らを肯定的に捉えるクセを身につけるには、従来の枠組みで捉えている物事をいったん取り外し、違った枠組みからアプローチするリフレーミングの手法を用いるのも一案である(※2)。

介護業界の悪い面や醜聞などを論(あげ)うことに長ける人になるのではなく、介護の魅力を社会に発信し

たいと思っている人、介護職に就くことに大きな意味があると考えている人、その人たちの力になりたいと願っている人、こうした大きな目標を掲げながら自己肯定感を高めることに夢中になっている人に向けて、さあ、ひっくり返そう。わたしは、私」とエールを送りつつ、新連載に舵を切る。

※1 詳細は西武・そごう「わたしは、私。炎鵬の逆転劇スペシャルムービー」を参照 ([www.sogo-seibu.jp/watashiwa-watashi/](http://www.sogo-seibu.jp/watashiwa-watashi/))

※2 本誌 2020年2月号本欄参照